

会報

第2959号2022年10月8・9日

第2960号2022年10月23日

第2961号2022年10月25日

Rotary



イマジン
ロータリー

第2959号



2022-23年度国際ロータリー第2790地区

地区大会

ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！
ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう

2022年10月8日(土) ホテル ザ・マンハッタン 10月9日(日) アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール

【出席報告】 出席義務会員 61人/免除会員 2人/出席 10人/欠席 49人/メイクアップ適用 3人/出席率 21.31%

会長挨拶



2022年10月8日、9日に海浜幕張で、コロナ感染拡大により3年ぶりの大会開催になりました。私は学園の行事(運動会)の為、9日のみの参加になりました。

ガバナーからは「ロータリーは、楽しくなければ続けるとはできません。仲間との信頼を通して、地域、世界で良いことをしていこう」と挨拶がありました。その後、熊谷千葉県知事、本郷谷松戸市長からお祝いのメッセージがあり、続いて柳生好春国際ロータリー会長代理から挨拶並びにRI現況報告と続きました。

その中で、会員減少がアメリカやヨーロッパで著しく、増えているのはアジア、アフリカで、日本は減少し、目標の13万人にはほど遠いです。女性会員の比率はアメリカで35%、他の韓国、インド、台湾などでも25%に近づいてい。日本は7~8%です。まだ、男尊女卑のイメージがあるのかも知れません。これからは、女性を増やさないと会員増強は難しい

状況です。

大物産展では、千葉から世界を変えるフェスタと銘打って、食品、日本酒、落花生など、柏では、トマトケチャップやジャムが売られて、全て完売したそうです。

その後、渡辺真知子さんの歌やジャズ演奏、懐かしい、「かもめは飛んだ」を聞きました。高橋英樹さんの講演があり、日活に入社したころの話や時代劇の話、そして自分は今まで挫折を知らずに、順調に今日まで俳優の仕事をしてきた。これからも元気に頑張っていきたいと話されていました。



【移動例会】ポリオイベント



ポリオ根絶のための広報活動

2022年10月23日(日) 柏駅東口Wデッキ上 10時30分～12時

【出席報告】

出席義務会員	61人
免除会員	2人
出席	22人
欠席	38人
メーカーアップ適用	2人
出席率	39.34%

会長挨拶

2022年10月23日のポリオデーには、2790地区第11グループの5つのクラブから70名以上のロータリアンが集まり、10時より柏駅ダブルデッキでポリオ根絶の活動を行いました。

柏ロータリークラブは26名が参加しました。11時から11時20分までは、柏駅東口大型デジタルビジョンで星広告さん(関F)の協力によりポリオ動画のみを配信しました。同時に太田和美柏市長より世界からポリオを根絶しようと、心強いメッセージが発信されました。

ポリオについては、まだまだどのような感染症の病気なのか、わからない方が多いと思います。特に若い世代には馴染みがない言葉でしょう。私達には小児麻痺と呼ばれ、かかると身体まひがおき、時には死に至る恐ろしい病気であると知らされています。ワクチンで予防が可能です、治療法はありません。ロータリーは毎年5000万ドルを目標にし、ビル・ゲイツ財団と合わせ合計1億5000万ドルが寄付されることになっています。

当日は、天気が良く暑一中、チラシの配布を致しました。当初はなかなか、受け取ってもらえずに苦労しましたが、徐々に人出が増えてくると少しずつ手に取って頂けるようになりました。寄付は集りが悪く、柏RCでは、32,471円が集まり、猪早さんからの寄付1万円を合わせて、42,471円をロータリーポリオプラス基金に寄付いたします。寄付も必要ですが、今回の活動で一般の方が少しでもポリオを認識し、興味を持っていただければうれしいです。完全な根絶にはまだ時間がかかりますが、世界中のロータリアンが力を合わせ続けていけば、その日も近いのではと思っています。参加された会員の方ありがとうございました。

ご都合がつかずに今回は不参加になった方も今後ともよろしく願いいたします。最後になりましたが、ル・クーブルでの美味しいランチには感激でした。少し散財してしまい申し訳ありません。



委員会報告

張ヶ谷政喜社会奉仕委員長

10月24日ポリオデーに合わせて開催された第11G合同のポリオイベントに多数の皆様にご参加をいただき誠に有難うございました。

他団体のハロウィンイベントと重なって柏駅東口ダブルデッキ上は大賑わいでしたが多くの皆様に「End Polio/エンドポリオ」の告知をさせて頂く事ができたかと思います。10月とは思えない汗ばむほどの天気でしたが参加された皆様大変お疲れ様でした。

そして、ポリオイベント後は「ル・クーブル」にてフランス料理のフルランチコースを堪能いたしました。ワインと合わせて大変美味しくいただきました。

最後にあらためて【ポリオ10の事実】をご紹介します。

【ポリオ10の事実】

- ① ポリオは小児麻痺の一種です。主に5歳以下の子どもに突然発症します
- ② 私たちは、世界中からポリオを撲滅させる道程の99%のところにいます
- ③ 現在ポリオが発生している国が40か国あります
- ④ 多くの病気とは異なり、ポリオは撲滅することができます
- ⑤ ポリオの予防には、安くて効果のあるワクチンを利用できます
- ⑥ ポリオ撲滅への世界的な取り組みは公衆衛生における最大の官民共同の活動です
- ⑦ 大規模なワクチン接種(活動)は短時間に(住民の)免疫力を高める手助けをします
- ⑧ ポリオの撲滅には、すべての子供に予防接種を受けさせる必要があります
- ⑨ ポリオ基金のスタッフ、戦略、人的・物的資源は、定期的な予防接種のような(ポリオ以外の)健康維持の推進のためにも使われています
- ⑩ 私たちはポリオを撲滅することができます





《懇親会》

場所:ル・クーブル 住所:柏市柏3-9-20 2F TEL:04-7162-5081



第2961号

2022-23年度 国際ロータリー第2790地区 第11グループ 合同例会及び情報研究会

2022年10月25日(火) ザ・クレストホテル柏

【出席報告】 出席義務会員 61人
免除会員 2人
出席 20人
欠席 40人
メイクアップ適用 1人
出席率 34.43%

《合同例会》

点 鐘

国際ロータリー第2790地区
第11グループ
猫田岳治ガバナー補佐

国歌演奏

ロータリーソング演奏

『君が代』

『奉仕の理想』

『四つのテスト』

ロータリーの行動・宣言

米谷昌紀様(柏南RC)
塚越立太会長(柏東RC)



点 鐘
国際第2790地区
第11グループ
猫田岳治ガバナー補佐

会長挨拶

2022年10月25日に、合同例会・ロータリー情報研修会が行われました。108名の参加です。猫田ガバナー補佐の力強い挨拶があり、基調講演では二宮金次郎の7代目の子孫、中桐万里子様のお話を聞きました。

私の小学校のころ(60年以上前)には、多くの学校の校庭に薪を担ぎ、本を読んでいる子どもの頃の金次郎像がありました。今はあまり見かけなくなりましたが、その理由として、あの像は殆どが寄贈されたもので、老朽化や修理で費用が掛かり、自治体等では費用が賄えないので取り壊されたりして少なくなったようです。

金次郎は182cm97kgと当時としては、とても大きな方でした。イメージは勤勉・努力家として見られていますが、実は実践主義で現実主義者だったとのこと、異常気象や災害で困っている農村600以上を救ってきたそうです。どんな時も目を開け、現実を見て、常に一步先を目指して行動していました。幸せな時でも、もっともっとと食欲に前に進んでました。講師の中桐様は子育て支援に力を注ぎ子ども達の弱いところと向き合い助け、褒めるより支えることを心掛けているそうです。とても勉強になり、自分の職場に生かせるお話でした。



吉川末満柏南RC会長 塚本秀男柏西RC会長 渡辺敏行柏RC会長
塚越立太柏東RC会長 藤本行宣我孫子RC会長



《2022-23 情報研究会》

【基調講演】

講師：中桐万里子 様

テーマ：「二宮金次郎に学ぶ・ロータリー
以前のロータリアン」

<https://youtu.be/bJ-rgKgYLi4>



≡ ショートスピーチ ≡

「さけたまプロジェクト」ご協力PR

大沼隆 青少年奉仕副委員長
(柏西RC)



改めましてこんにちは。柏西ロータリークラブ 青少年奉仕委員会の大沼と申します。私からは「さけたまプロジェクト」のご協力お願いについてPRさせていただきます。

その前に「さけたま〜」について初めて耳にした方もいらっしゃると思うので簡単にどのような企画か説明いたします。この企画は、以前柏市内で校長先生まで努められ現在OBとなった先生が一人で全て実費で小さな規模で細々と取り組まれていたものでした。とても良い企画でありながら、もっと広く継続的に続けていくためには大きな協力者が必要と探しておられました。2021年度に時の水野会長に相談し、「青少年奉仕」と2021年度よりロータリー

の重点分野に新たに加わった「環境」の視点から、メンバーの賛同・採択をいただき始まりしました。

「さけたま〜」の内容は、11月下旬に参加小学校へさけの有精卵を届け、2〜3週でふ化した稚魚を翌年2月中旬まで飼育していただき、稚魚の回収〜利根川への放流を行います。給食の時間に合わせ、インターネットで放流の様子をライブ配信し、子供たちにも様子を見てもらいます。

柏市内小学校42校中、2年目で約25校の参加希望がありました。卵の配布〜稚魚の回収〜放流と、マンパワーが必要となります。子供たちの喜ぶ姿を間近で感じることができる素晴らしい取り組みとなりますので、11グループの皆さんにもお力をお借りしながら、このプロジェクトを広く永続的に取り組んでいければと思っています。

直近、卵の配布は11月25日(金)13時〜からと決まりました。詳細はまた追ってアナウンスいたしますので何卒よろしくお願い致します。有難うございました。



NPO法人ピッコラーレの紹介・寄付のお願い

小野晴香 様

はじめまして。2012-2013年国際親善奨学生(推薦:柏西RC)として、カナダに留学しました小野晴香と申します。カナダでは社会福祉学部で学び、先住民族の若者、特に10代の女の子たちの支援に携わりました。その時の経験から、ジェンダーの問題に関心が高まり、現在は、妊娠が困りごとになっている人たちの支援を行う「NPO法人ピッコラーレ」に事務局長として参画しています。



ピッコラーレは、ロータリーが掲げている7つの重点分野の一つ、母と子の健康を守る「母子保健」の分野で活動をしています。

皆さんは、日本の母子保健は世界でも進んでいると認識されていると思います。確かに、乳児死亡率のデータを見ればその低さは世界でもトップレベルであり、医療機関にさえ繋がれば、日本は最も安全に出産できる国と言えます。

その一方で、思いがけない妊娠などで誰にも相談できず、病院にもつながれないまま妊娠期を過ごし、その結果、公衆トイレなど医療機関以外の場所で、たった一人で命の危険をおかしながら出産する人がいます。その中には、新生児遺棄などで生まれたその日になくなる命がある、ということを、皆さんもニュースで耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

ピッコラーレは、そういった「妊娠の孤立」による悲しいお産を社会からなくしたい、といった思いで、約7年前から妊娠にまつわる困りごとを、全国どこからでも相談できる窓口「にんしんSOS東京」を年中無休で運営しています。「妊娠したかもしれない、どうしよう」「親には絶対に言えない」「相手に妊娠のことを伝えたら連絡が取れなくなった」など様々な相談

を7000人近くの方々から受けてきました。

中には、「ネットカフェにいます。きつともう臨月だと思う」といった、安全な居場所がない状態で転々としている妊婦からの相談もあります。そこで2年前に、彼らが安心して産前産後を過ごすことができる居場所の運営も開始しました。制度の狭間におかれ、孤立している妊婦に寄り添いながら、具体的な支援を行なうと同時に、孤立を生み出す社会構造

を変えていくための政策提言活動は、皆様からのご寄付によって支えられています。

0ヶ月0日の虐待死をなくしたい。孤立し漂流する妊婦に安心と休息を届けたい。そして、妊娠で孤立する社会ではなく、誰もが「にんしん」をきっかけに、自由に幸せに生きられる社会を目指す私たちの活動に、ぜひロータリアンの皆さんにもご賛同いただき、応援いただけますと心強く思います。どうぞよろしくお願いいたします。

会場での寄付

クラウドファンディング

11万7000円が集まりました。

1000万円達成することができました。

《会場風景》



岡本祐彦 F



本日のお食事



《行事予定 2022年11月》

月日	例会数	行 事 予 定	開始時刻	卓 話
11/2	2962	通常例会・クラブ協議会・理事会	12:30	
9	2963	11/8、9 移動例会(親睦旅行)		
16	2964	通常例会	12:30	国際ロータリー2790地区 財団資金管理・寄付推進委員会 堀内正人委員長
23		祝日休会		
30		休 会		

《編集後記》

久々のクレストホテルの例会でご飯美味しかったです！それにしても、薪を背負ってる銅像くらいしか知らなかった二宮金次郎さんの事、あらためて何も知らないことに気づかされました！勉強します！（井上英博）

例会日：水曜日 12:30～13:30

例会場：ザ・クレストホテル柏

柏市末広町14-1

TEL 04-7146-1111(代)



<会報担当>

委員長 井上英博 中島康子 杉原 浩
委員 坂本 博 中島有紀子 関 学
藤川 崇 山下和則 岡本雅子